

## 生徒を理科好きにさせる方法

子ども（生徒）の理科離れが話題になっている。

小学生に問うと好きと答える数が多いが、中学生以降次第に嫌いと答える数が増える。

自分の経験上、

- ・どうしても計算や単位が多く用いられ、難しくなる
- ・観察実験好き＝理科好き、とはいえないという仮説

がある。

これらの解決は、ここでは問わないことにするが、先日、仕事で、いい話を聞いたので、概略をのせたい。

講師は、東京理科大学長 藤嶋昭氏である。

講演後の質疑応答を含め、内容は次の通りであった。

### ①基礎理論が大切である

- ・私たちの生活に役立っている。
- ・有名なあの理論があったから私たちの生活のこれがあるのだ。

### ②身のまわりにおもしろいことがいっぱいある

- ・虹、雷

### ③良い雰囲気をつくる

- ・鎌倉時代に多くの宗教家がでた…何か良い雰囲気があった
- ・15世紀のフィレンツェ…王が芸術を奨励するよい雰囲気づくりがあった
- ・良書を読める環境づくり…課題を与えて読ませても良い

（高校生は受験本しか読んでいない）

幼少時は絵本から、文系理系関係なく教養が大切

- ・雰囲気は先生がつくるもの
- ・独創的な研究をさせるためには、興味関心を持たせるしかない

以上

とにかく効果的な方法を考えがちだが、良い雰囲気をつくり一人でも二人でも理科好きな子どもを育てることが大切だろう・・・。